

No 28
31 July 2010

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちよう

Bird of Paradise

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成22年7月31日

編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6F(ニューギニア航空日本支社内) TEL 03-5216-3555 FAX 03-5216-3556

立命館大学におけるPNG関係の講演会報告

及川 正博 (当協会会員、立命館大学特別任用教授)

さる4月23日、立命館大学国際関係学部においてPNG国立博物館・美術館 (National Museum and Art Gallery) の考古学主任研究員ハーマン・マンデュイ氏と彼の日本招聘責任者でニュージーランドのオタゴ大学人類学部・学部長グレン・サマーヘイズ教授による講演会が開催された。マンデュイ氏のテーマ

は「PNGにおける考古学研究推進上の問題点」、サマーヘイズ教授のテーマは「PNGにおける考古学の現状」であった。

マンデュイ氏講演の趣旨は以下である。五万年を有するPNGの古い歴史を考古学的に研究する上で、その一翼を担うのがNMAGであり、PNGはしかるべき法律を制定し同国の考古学上重要と見做される文化財が国外に持ち出されないよう努めている。外国の調査研究員はPNGとの共同研究が推奨され、すべての研究員は The National Cultural Property Act に基づき National Research Institute から正式に許可を得た後、NMAGないしはPNG大学との提携が求められ、その許可は次の三つの段階を踏む。
1. 地方ないし村落共同体からそで行う調査の許可を得る。
2. 州政府からそで行う調査の許可を得る。
3. こうして得た許可書をこの国のすべてのリサーチを統括するNRIに送る。

これらがすべてクリアされるとNRIからリサーチ・ビ



右から 長谷敏夫教授(東京国際大学)、私、ピーター・マッシューズ准教授(国立民族学博物館)、グレン・サマーヘイズ教授、ハーマン・マンデュイ主任研究員、野嶋洋子プロジェクト研究員(国際日本文化研究センター)

ザ発行の許可が出され、外務省、移民省を経てそれぞれの国のPNG大使館を通じて研究調査申請者に許可証が交付される。こうしたややこしい手続きの背景には、昨今、新興国家としてPNGは鉱物や木材資源に恵まれその開発が望まれるが、それに伴って文化遺産がないが

しろにされるのを防ぐことと、PNGにおける考古学上の発掘は、大手の石油やガス会社で雇われた契約考古学者が行っていて、彼らが会社から国立博物館との接触をしないように要請されることがある。自分たちの開発事業が考古学上の理由でストップされることを恐れるからである。NMAGは、この国のすべての考古学的事業に係わるべきだが、少ないスタッフでその重責を担うのは難しくPNG大学の学生が、外国のリサーチ・チームに加わって文化遺産を守ることが期待される。

サマーヘイズ教授は、46,000年前のものとしてこの国最古の遺跡が発見された Ivane Valley での発掘作業に従事した体験を話され、首都から135キロの海拔2,000メートルに位置するこの場所で先史時代の更新世(第四紀の前半)後期にこの国の人々が環境に適応し、しかも、ヨーロッパでネアンデルタール人が野山を闊歩していた時期に、ここでもすでに火を使って周りの環境を管理していた事実を語った。

パプアニューギニア de SHOW 2010

鈴木 紀久代 (当協会副会長)

「3月31日のニューギニア航空週2便就航記念式典と大使館の開館式典のために来日する三組のダンスグループのうち、一組を新潟で引き受けてくれませんか」と大使館からの打診があったのは、今年の11月末。マウエ大使の公邸で、お別れ会が開かれている時のことだった。

この時に「是非」と答えて年が明け、具体的な日程調整となった。学校は春休み中なので一般市民向けのショーを開催することに決め、長岡市の市民センターの地下広場を借りて「パプアニューギニア de SHOW 2010」を開くことにした。また、せっかくの機会なので、ショーの2週間前から、同センター内の地球広場にて、PNGの写真や工芸品などを展示して、PNGと新潟PNG協会の活動を紹介することにした。思いがけず、いつもより順調に準備が進んでいたが、一組のダンサーを予定していたところ、三組全員のダンサーを受け入れてくれないかと変更依頼がきて大慌て。最終的には31名分の

宿泊先と控え室、40名分の夕食兼宴会用の場所を急遽確保することになった。

3月28日、ショーの当日は、小雪がちらつく大変寒い日だった。暑い国から来るダンサーが風邪をひかないかと心配もしたが、全員元気にショーをこなし、楽しく飲んで食べて、その日は終わった。翌朝、「雪と一緒に記念写真を撮った」とはしゃいでバスに乗り込み、鶴ヶ島へと出発して行った。

帰国してからのインタビューに、「新潟で雪を見たのに感動した」と答えていたダンサーがいたと、後から駐PNG日本大使館の方から連絡があった。新潟市から新幹線でショーを見に来てくださった方もおり、日本の私たちにとっても、PNGのダンサーにとっても、思い出深い一日となった。今後もまた、このような機会を多くもてることを願いたい。

7月に川口理事が新潟市で、8月に私が見附市で、PNGについて話す機会があった。

『拡がれ、パプア好き人間の輪!』



パプアニューギニアダンス in 霞テラス

はじめまして。3月30日、霞ヶ関コモンゲートで行われたシンシンダンスショーでは司会をさせていただきました。さぞお聞き苦しかったとは存じますが、この場を借りて楽しい時間を振り返りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

会場は、文部科学省や金融庁などが入居するビルの谷間、霞山会館の前の広場でした。春らしい日差しが降り注ぐ晴天でしたが、まだまだ低い気温や強いビル風は、肌を露出しているニューギニアのダンサーたちにとっては大変だったかもしれません。ちょうどお昼休みということで、行き交う多くのビジネスマンが足を止め、お弁当を広げる方もちらほら。座れない方も出るほどの観客が集まりました。しかし、定刻になってもダンサーは現れません。ハラハラしていると、しばらくして大きな木の太鼓の組み立てが始まりました。今から組み立て!?!とニューギニアタイム



上段左から:留学生のリネットさん、私、青年部の清水君、屋代くん 下段:ダンサーたち

鶴ヶ島の学童保育クラブにて「春を楽しむ会」

高柳 允子

(当協会会員、ポリライブ～オセアニア文化に親しむ会～会長)



写真提供：長谷敏徳 様

山本 佳菜

(当協会法人会員 協和海運株式会社)

に内心びっくり。でも、確実に始まるのが分かり、一安心です。

「どこからか、不思議な音が聞こえてきませんか?」いただいた原稿を読み上げ、自分も耳を澄ますと本当に不思議な、おなかに響く太鼓の音が。演奏しながらダンサーたちが現れると、会場から歓声が上がりました。まずは、マヌス島からのダンサーによる作物の豊穰を祝う踊り。男女ともに華奢で身軽な彼らは、見ているこちらも自然と笑顔になる、とても生き生きとした躍動感あふれる踊りでした。続いてはモロベ州からのダンサーによるパフォーマンス。こちらは男女ともにがっしりとして堂々とした体つき。落ち着いた神秘的な踊りに魅せられ、観客はみんな、一瞬東京のど真ん中にいることを忘れたに違いありません。

さいごになりましたが、当協会青年部角田明日香さんにもお手伝いいただき、たいへん助かりました。

2010年3月29日(月)、鶴ヶ島市学童保育どんぐりクラブの「春を楽しむ会」の特別ゲストとして、モロベとマヌスから二組のシンシンチームが鶴ヶ島にやってきました。目黒にPNG大使館が新築されたお祝いのために来日したのを機に、長岡から鶴ヶ島へと足を伸ばしてくださったのです。

バスで到着後、どんぐりクラブの子どもたちと車座になって、おにぎりや豚汁とフランクフルトの昼食をとり、和気藹々とした雰囲気の中で交流は始まりました。

市民ボランティアグループである花咲く乙女座のちんどんBANDとモロベの「ラシ・テワイ・シアシ・グループ」がコラボしましたが、さすが! すぐさまクンドゥをちんどんリズムに合わせ、素晴らしい共演となりました。

マヌスの「クルティ・アンドラ・ダンシング・グループ」はスピード感ある踊りで、観る者を魅了しました。ディスコタイムでは、スクールガードのおじさんたちと私たちも一緒に踊りました(スクールガードは下校時の安全確保のためのボランティアです)。

子どもたちの一輪車、ベーゴ

ま、指導員のけん玉、南京玉すだれが披露され、シンシンチームのみなさんは目を丸くして眺めていらっやいました。

桜の木の下で春を楽しもうという目論見はずれ、桜は蕾で冷たい風の吹き渡る運動場で肌を露出している踊りとなりそうでした。申し訳なく思い、「会場を室内に移しましょうか」と提案しましたが、シンシンチームは、その提案を退け、外でダイナミックに踊ってくれました。

ショータイム後のお茶席では、「こんな飲み方でいいのでしょうか」とシンシンチームが質問するなど、日本の文化を知ろうとする積極的な態度が垣間見られました。亭主を務めた男性は、「あなたはサムライですか」と質問され、ククッと嬉しそうに笑っていました。このような日本文化に触れたのは初めてという方が多く、よい交流になったかと思えます。

お別れの時は、子どもたちが2列に並んだ中を通り抜けながら、一人ひとりと握手をし、とてもいい雰囲気でした。



日本・パプアニューギニア協会
法人会員紹介 第21回

「みなさん、こんにちは」
アドバンスプランニング株式会社です。

〒720-0843 広島県福山市赤坂町
赤坂1276(株式会社メディアテック一歩)

TEL084-952-3000

FAX084-952-3001

電子メール: info@advanced-planning.jp

『日本の上流資源権益確保と
日パ共存共栄のために』

ここしばらく、「中国の爆食」とか「資源メジャーの攻防」などという言葉が紙上を賑わせるようになりましたが、エネルギー/鉱物資源や食糧資源の多くを輸入に頼ってきた日本は、これまで海外の上流資源権益確保の為に人材投入と現場情報の収集力強化に遅れを取っていました。その結果、今では世界各所における権益取得競争に敗退し続け、急激な資源高騰や「買い負け」による資源供給の不安定化という大きな危機に晒されています。

マーケットや技術、資金はあるのに、上流権益確保に絶対に必要な『情報(戦)』と『海外専門人材(の厚

み)』で負けているのです。この事は、近年諸外国の資源企業が多く進出を始めたパプアニューギニア(PNG)においても変わりありません。

当社は、これらの状況を打破し、PNGなどの資源国における日本の資源権益戦略を現場でお手伝いしたいという願いから設立されました。当社内では、日本やオーストラリア、PNG、現地華僑系などを含む多国籍の社員らが、「世界は今、資源争奪という名の『第三次世界大戦』に突入した」との強い危機感の下、現場密着による強力かつ広範囲な情報網を持つ現地エージェントとして、また新規ビジネス開発企業として、現場から日本勢を強力に支援するための体制を整えつつあります。

PNGには、日本が必要とする豊富な天然資源がまだ手つかずのまま残っているだけでなく、日本との距離も近く、また元来非常に親日的な国であるため、日本への期待がとても高いなど、有利な点が多くあります。しかし一方で、都市部の治安や衛生、インフラなどの点において「カントリーリスクの高い国」とされている事も事実です。私たちは、その『リスク』の部分を進んで引き受け、日本企業を現場で支援していく覚悟です。現地における地道な信頼関係作りと情報集積さえしっかり行えば、



現地資源調査の様子(東セピック州)

日本はPNGにおいて必ず多くの権益を確保し、同時に環境に配慮した互恵的資源開発ができると思っています。

かつてPNGの人々は、日本と連合国の戦争に巻き込まれました。にもかかわらず、多くの人々が、飢餓や戦傷、病魔に苦しみ、敗走を続ける日本の兵隊さんを助け、命を救って下さいました。そしてそんな彼らは戦後、日本を助けた罪で連合軍軍によって投獄/処刑されたのです。つまり、日本はPNGに大変なご恩があるとと言えます。

PNGは、将来の日本にとって必ず『救世主』となり『生命線』となり得る国です。そんなPNGと日本の共存共栄に資するべく、そして現地における日本の資源権益確保を支援するため、社員一同、今後も一層奮闘努力して参ります。

事務局からのお知らせ

当協会会員スギ☆カナ様が
写真展を開催!

写真展:キノボリカンガルーの森を覗いて
みよう!

10月23日~11月1日

*対談:スギ☆カナさんと飼育係さんが
キノボリカンガルーを語る

10月31日

*場所:横浜動物園ズーラシア ころこ
ロッジ

当協会会員の酒光幸子様談話室「サロン・ニューギニー」を開設されました!

オープニングイベントとして、同談話室にて「ニューギニアこころの写真展」を開催。

*場所:東京都北区豊島2-21-10
酒光ビル1F
TEL03-3919-4194

*サロン・ニューギニー開室日:
毎週 金・土・日・月曜日

*写真展開催日/8月6日~9月12日
10:00~17:00(サロン開室曜日のみ)

「線」(角川書店)

「ふたつの枷」(集英社) 古処誠二著

戦争小説を地道に書き続けている古処氏。名もない兵隊に焦点をあて、過酷なニューギニア戦を描く。小説でありながら、よくここまで正確な資料、情報を収集したものか。レベルの高さに感服する書籍です。



日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。
*会員数 2010年7月末 法人会員/16 個人会員/135

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的として、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法 / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。
年会費 / 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 学生 1,000円 PNG人 1,000円
会費受付 / 郵便振替口座をご利用ください。

口 座 記 号 / 番号 00140-2-277582
加 入 者 者 / 日本・パプアニューギニア協会
周 合 せ 先 / 日本・パプアニューギニア協会 事務局
〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6階
(ニューギニア航空 日本支社内)
電話:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556
E-mail:info@air-niugini.co.jp

「ごくらちよう」編集/佐藤直子